

令和5年

3月18日 土

13:30～16:30 (開場 13:15～)

要事前
申込み

オンライン
(zoom)
+ 会場

歴史的建造物の内装の技術史

第9回
建築史部会
研究会

近畿支部建築史部会では、歴史的建造物とその背景にある社会や技術の解明を目的に研究活動を行っております。歴史的建造物が集中し、重層する近畿の特徴を活かしながら、議論を深め、社会への発信を推進します。

今回は歴史的建造物の「内装」に焦点を当てて、材料・技術に関する調査研究の現況と復原整備の方針について日韓の事例を通して考えたいと思います。

※今回はコロナ禍であることを考慮し、ご登壇者の方々はオンライン参加とさせていただきます。

▶ お申込み
3月10日まで近畿支部建築史部会ウェブサイトよりお申込みください。



近畿支部建築史部会

▶ 会場：
大阪科学技術センター 703号室
(先着順、15名)



会場地図

+ オンライン配信 (zoom)
参加用URLは後日案内します。

司会：鈴木 智大 (奈良文化財研究所)
趣旨説明・逐次通訳：金 玟淑 (京都大学)

発表
昌徳宮の熙政堂・大造殿の塗襖・鋪陳について
旧前田家本邸洋館の内装について

鄭 貞男 (建築文献考古スタジオ)
岡野 法子 (文化財建造物保存技術協会)

講評
小泉 和子 (家具道具室内史学会 会長) / 金 東旭 (京畿大学校 名誉教授)

お問い合わせ：金 玟淑 (京都大学) kim.minsuk.87z★st.kyoto-u.ac.jp (★を@に置き換えてください)